



趣味のランニングに熱を上げすぎて美術制作の時間がとれません。  
悩んだ挙句、ルームランナーを版画が刷れる装置に改造しました。  
版とランとが互いの足を引っ張り合う美術館プロジェクト  
「版ラン!」。二兎を追う者の奮闘の軌跡をご覧ください。

若木くるみ

富山県美術館アーティスト@TAD 若木くるみ 「版ラン！」

2018/9/8(土)→11/4(日)

休館日：水曜日、9月18日、10月9日 ※8月15日、10月3日は臨時開館  
富山県美術館 1階TADギャラリー 9:30~18:00(入館は17:30まで)  
[滞在制作] 8月12日(日)~18日(土) 富山県美術館 3階アトリエ



富山県美術館  
アート&デザイン

# アーティスト@TAD

## 若木くるみ 版ラン!

第2回のアーティスト@TADでは、アーティスト及びランナーとして活動する若木くるみが、富山県美術館で滞在制作、ワークショップ、パフォーマンスを行い、TADギャラリーでその成果を展示します。若木は、剃り上げた自らの後頭部に顔を描くパフォーマンスや、大車輪の中で延々と走り続けるパフォーマンスで注目を集めてきました。それらは「目立ちたがり屋でシャイ」という若木のパーソナリティに直結するもので、矛盾するコミュニケーションのありようをユーモラスに表していると言えます。奇抜なパフォーマンスで知られる若木ですが、意外にも長年取り組み続けているのが版画と長距離マラソンです。アートとスポーツ、全く異なるこの二つが富山県美術館でどのように融合するのか、しないのか。若木による前代未聞の挑戦を温かい目でご覧ください。

2018/9/8(土)→11/4(日)

イベント案内



《草間彌生》顔拓制作風景 2018年

### 滞在制作の乱「版画メーカー」

日時:8月12日(日)~18日(土)10:00~16:00  
場所:富山県美術館3階アトリエ

自身の後頭部を版にした顔拓や、改造したルームランナーで走りながら版画を刷るなど、版とランとが美術館いっばいに氾濫する滞在制作です。

### ワークショップ「木炭を走らせろ! 若木くるみの石膏デッサン」

日時:8月18日(土)14:00~15:30  
会場:富山県美術館3階アトリエ  
対象:5歳以上(小学校3年生以下は保護者同伴)  
定員:20名  
参加費:無料(参加にかかる駐車料金等は自己負担)  
申込方法:電話にて先着順 TEL 076-431-2711

若木くるみの背中に石膏像をデッサンしてから、その石膏像(若木)を紙にデッサンします。出来上がった参加者のデッサンは、TADギャラリーで展示します。

### パフォーマンス「大車輪」

日時:9月8日(土)、11月4日(日) 9:30~18:00  
場所:富山県美術館内

大きな車輪の中で、若木がひたすら走り続けます。ちなみに「大車輪の活躍」とは、一生懸命に奮闘して大きな成果をあげる、などという意味の表現だそうです。がんばります。

#### 【アーティスト@TADとは】

国内外で活躍するアーティストを富山県美術館(TAD)に招き、アトリエでの滞在制作や作品展示を行う企画です。滞在期間中にはワークショップやパフォーマンス等を通して、訪れた人がアートを体感することができます。



《ポートレート》 2017年



《しましまの通り道》木版画 2015年



《草間彌生》顔拓 2018年



《鯖街道ウルトラマラソン》 2017年



《取り押さえ》木版画 2018年



《雪どけしじみ汁》木版画 2008年

※掲載作品は展示作品とは異なります。

#### 【同時開催】

#### 第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2018 (IPT2018)

1985年から富山県立近代美術館で3年に一度開催してきた、日本で唯一の国際公募のポスター展を富山県美術館で初開催。国内外のデザイナーらが審査を行い、今日の最先端を行く世界のポスターが富山で一同に会します。  
[期間] 8月11日(祝・土)~10月8日(祝・月) [観覧料]一般1,100(850)円 大学生550(420)円 一般前売り850円

#### 三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA

三沢厚彦は日本を代表する彫刻家です。2000年、動物をモチーフとする木彫を制作し始め「ANIMALS」シリーズを発表しました。本展では、「ANIMALS」代表作を中心に、富山をテーマとするプロジェクトをあわせて紹介します。  
期間] 10月20日(土)~12月25日(火) [観覧料]一般1,300(1,000)円 大学生700(500)円 一般前売り1,000円 ※()内は20名以上の団体料金

#### 【アクセス】

○JR 富山駅 新幹線改札口(富山駅南口)から  
徒歩:約20分/タクシー:約10分/バス:7番のりばより乗車、「富山県美術館」下車すぐ  
○あいの風とやま鉄道 改札口(富山駅北口)から  
徒歩:約15分/タクシー:約3分/バス:1番のりばより乗車、「富山県美術館」下車すぐ  
○富山空港より タクシー・車:約20分(渋滞なし) ※約9km  
○北陸自動車道より 富山I.C.から国道41号経由 約15分(渋滞なし)  
※美術館内の駐車場をご利用ください。

富山県美術館  
〒930-0806 富山市木場町3-20 TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712 http://tad-toyama.jp



若木くるみ  
WAKAKI  
KURUMI

1985年 北海道生まれ  
2008年 京都市立芸術大学卒業

若木くるみは北海道の厳しい自然に揉まれて育ちました。大学では版画を愛するおとなしい優等生でしたが、大学院受験は見事落第。うらぶれた若木は版画を捨て、頭髪を剃ってしまいます。そしてその剃りあげた後頭部に顔を描き入れ、反乱の気分を表したのです。ところがヤケクソで応募した岡本太郎現代芸術賞展ではまさかの最優秀賞を受賞。後頭部は若木に思わぬフィーバーをもたらしました。評価に実力が伴っていないことに苦しんだ若木は、周囲のプレッシャーから逃れるため過酷なランニングに打ち込むようになります。長距離マラソンを次々完走したことで若木は天狗になりますが、走力は伸びぬまま。「版画家としてもランナーとしてもパツとしない」というのが現在の若木の姿ですが、今企画「版ラン!」で大成功を収めて、未来の略歴を輝かしいものに塗り替える所存です。



《面》 2009年 岡本太郎美術館提供

- 主な展覧会  
2009-2010年「岡本太郎の『いきもの』」岡本太郎記念館(東京)  
2011-2012年「車輪の下らへん」Gallery Jin(東京)  
2013年「若木くるみの制作道場」坂本善三美術館(熊本)  
2014年「若木くるみの制作道場・今年も」坂本善三美術館(熊本)  
2015年「遊びひろく 岡本太郎」川崎岡本太郎美術館(神奈川)  
2016年「ユニフォーム」フィンチアーツギャラリー(京都)  
2017年「のっぴきならない遊動」京都芸術センター(京都)  
2018年「アウトでがんす」MORITAKA(東京)
- 主な走歴  
2013年 環花東超級マラソン333km(台湾) 女子優勝  
2016、2017年 スパルタスロン246km(ギリシャ) 日本人女子1位  
2018年 台湾横断246km 女子3位

